

Cisco Unified Call Studio で Decision Editor に加えられた改善

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Decision Editor に対して行われた改善について説明します。

前提条件

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Unified Call Studio, Universal Editionに基づくものです。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

症状 : N/A

解決策 : [引数の種類]ボックスで[セッションデータ]を選択すると、[変数名]フィールドがテキストフィールドから編集可能なコンボボックスに変更されます。このコンボボックスには既知のセッションデータがリストされ、ユーザは新しい値を入力できるため、柔軟性と操作の容易性が向上します。

[引数の種類]ボックスで[要素データ]を選択すると、[変数名]フィールドがテキストフィールドから編集可能なコンボボックスに変更されます。このコンボボックスには既知の要素データがリストされ、ユーザは新しい値を入力できます。これにより、より柔軟で操作が容易になります。

[引数の種類]コンボボックスで[呼び出し元の活動]を選択し、[活動の種類]コンボボックスで[終了状態]を選択すると、[終了状態]フィールドがテキストフィールドからコンボボックスに変更されます。このコンボボックスには、「要素名」コンボボックスで選択した要素の終了状態が表示さ

れます。これにより、無効な終了状態が入力されたことによるエラーの可能性が低くなります。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)